



佐藤美晴さん  
(鮎貝地区)

なんで屋根に人が上がっているの!?

インタビュー よいござったなっすー

地元に残りたいと答えた  
子どもの少なさに驚きました。

静かでゆっくりした中に時折話す京都ことばのアクセントが印象的な方でした。

出身はどこですか。

京都府和束町わづらまちの生まれです。山々に囲まれ、茶畑が広がる静かな町です。地元でとれる「和束茶」は甘く、出がらしも食べられます。葉っぱが長いのが特徴です。美しい茶畑の風景が「日本遺産」に指定されました。

白鷹町に来て驚いたことはありましたか。

冬に結婚したのですが、どの家の屋根にも雪下ろしで人がいる光景は衝撃的でした。冬にこんなに肉休労働するなんてびっくりでした。

主人に長靴を買いに連れて行かれました。大人になって長靴をはくとは思っていませんでした。

言葉はどうでしたか。

看護師として白鷹病院に勤め始めたころ、患者さんの言葉がわからず、先生から解説していただいたこともありました。

また、主人とお義母さんに「なに話してるの?」と聞いたら、「お前の話をしていたんだ」と言われたこともありました。言葉を省略して言われるのでわからなかったです。

白鷹町でいいねと思う事はありますか。

食材が豊富で、きのこや山菜の種類のもさは驚きです。味の濃さもあまり気になりません。

子どもの医療費無料化は助かります。一時的な病気だけでなく、アレルギーなど、薬を長く飲み続けなければならぬ病気もあるからです。

お仕事はどうですか。

大変な仕事ですが、辛い状況に置かれている患者さんたちのためにみんなで協力し合っ

て頑張っています。とてもやりがいを感じています。  
お子さんは。  
子どもは高1、中2、小5です。先日、小学校でのアンケートで、地元に残りたいと答えた子どもの少なさに驚

かされました。町や議会へ望むことはありますか。

今日、初めて議員さんと話しました。遠い存在に感じます。

町の仕事も身近にわかりやすく説明していただける機会があるとありがたいと思います。



編集後記

新年あけましておめでとうございます。

昨年10月発行の「議会だより」に折り込みましたアンケートの結果を掲載しました。町民の皆様とのやり取りを記事にできたことは「町民参加の議会づくり」へ大きな励みになりました。

今年とり年。これからも紙面づくりに『チキン』と『とり』組んでいきます……? 誤字のないように!  
(小口)

広報委員

- 委員長 山田 仁
  - 副委員長・編集長 小口 尚司
  - 委員 石川 重二
  - 委員 佐々木 誠司
  - 委員 笹原 俊一
- 印刷・長谷川印刷

お手持ちのパソコンで議会中継をご覧いただけます。録画でもご覧いただけます。

議会だよりのご意見・ご感想などを議会事務局までお寄せください。